

事業名:	若者おうえん基金新型コロナ緊急支援助成-社会的養護アフターケア事業緊急支援
資金分配団体:	公益社団法人ユニバーサル志縁センター
実行団体数:	17団体
実施時期:	2020年3月～2021年3月 (実行団体は2020年6月～2022年2月)
事業対象地域:	全国
事業対象者:	社会的養護を巣立った若者と、それらの若者に伴走支援を行う自立援助ホーム、アフターケア事業などの事業者

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

リスク要因の把握と対処：事業実施上想定されるリスク要因 (組織外、組織内)	状況の把握方法	想定する対応方法
<p>組織外：①実行団体が相談支援にあたる際に支援者、対象者に新型コロナ感染リスクがあるほか、コロナ禍の長期化により支援ニーズが想定よりも多くなる可能性がある。</p> <p>②助成金事業に慣れていない場合、他の財源と按分しての経費支出の確認が難しいことが予想される</p> <p>③助成金事業に慣れていない場合や経理を専門とする職員がいない場合に、事業終了後に経費支出証憑の管理、報告に手間取ることが予想される</p> <p>組織内：</p> <p>④各POが5-6団体をメイン担当、5-6団体をサブ担当として伴走を行うため、全団体に対して同じように細かくフォローすることが難しい</p>	<p>①月次MTG事前記入シートに感染予防対策に関するチェック欄を設ける他、状況の変化について月次MTGで聞き取る。</p> <p>②早い時期に月次MTG等で支出についてよく説明してもらう</p> <p>③月次MTG等で定期的に確認する</p> <p>④実行団体との月次MTG、POのMTGで状況確認をする</p>	<p>①感染予防対策方法を見直してもらう。増大したニーズにできるだけ対応するため、助成金額の範囲内で調整する方法を月次MTGと一緒に検討する。</p> <p>②説明が明確でない場合、改善方法を実行団体と一緒に検討する</p> <p>③証憑の整え方について相談にのる。</p> <p>④月次MTG事前記入シートを活用して実行団体との月次MTGのなかで必要なフォローをするほか、事業の進捗に課題がある団体に重点を置いて伴走支援を行う。</p>

II. 見直し後\*の事業実施で達成される状態（アウトプット） 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実施を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<p>社会的養護を経験した若者および同様の困難な環境にある若者が伴走的な支援を受け、自分自身の次のステップを考えることができるようになるために、</p> <p>A)若者が</p> <p>1.実行団体とつながり、あるいはつながりを回復し、困窮する前に相談できる</p> <p>2.住む場所を確保できている</p> <p>3.制度利用、医療受診、就労支援、学修支援など必要な支援を受けられている</p> <p>4.就労のチャレンジができている</p> <p>B)支援者が支援の質を向上するためのサポートを受けられている</p> <p>C)社会的養護等の若者について理解し、体験就労や雇用を受入れる企業が増えている</p>	<p>A-1①. 相談件数</p> <p>A-1②. 食料支援回数</p> <p>A-2. シェアハウスや一時アパートの入居者数</p> <p>A-3. アウトリーチ件数</p> <p>A-4. セミナー、企業見学、体験就労、中間就労の参加者数</p> <p>B. 職員への研修、スーパーバイズ、心理カウンセリングの回数</p> <p>C. 新規協力企業数</p>	<p>A-1①. 相談事業を行う団体の月次MTGシート</p> <p>A-1②. 施設外で生活する若者に食料支援をする団体の月次MTGシート</p> <p>A-2. シェアハウスや一時アパートを提供する団体の月次シート</p> <p>A-3. アウトリーチ支援を行う団体の月次MTGシート</p> <p>A-4. 就労支援を行う団体の月次MTGシート</p> <p>B. 職員への研修、スーパーバイズ、心理カウンセリングを行う団体の月次MTGシート</p> <p>C. 協力企業の開拓を行う団体の月次MTGシート</p>	<p>全体および各指標について各団体が掲げる目標値の90%（平均）を達成する</p> <p>その他、アウトプット指標とは別に、実績として、</p> <p>*アウトリーチ対象者一人に対する対応回数</p> <p>について示せるようにしていく</p>	<p>すべて2022年2月</p>

\*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後(\*)の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び 目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

事業実施後（1年後）以降に目標とする状態	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	実施時期
<p>社会的養護を経験した若者および同様の困難な環境にある若者が伴走的な支援を受け、自分自身の次のステップを考えることができる</p>			

\*実行団体の事業計画等から見直した結果